森林整備保全事業県歩掛

令和７年１０月１日以降　適用

山形県農林水産部森林ノミクス推進課

備　　考

1　森林整備保全事業県歩掛は、林野庁制定の森林整備保全事業標準歩掛以外であって、県独自の歩掛として標準的に使用するものをまとめたものである。

2　各項目の内容は次のとおり。

・コ ー ド：積算システムにおけるＳコード番号及びその他のコード番号
・出　　典：県歩掛の根拠又は参考とした歩掛等
・改 定 日：制定（平成 18 年 3 月）以降の改定履歴
　　例：「R41001」は令和 4 年 10 月 1 日以降適用で改定

目　次

No.	ｺｰﾄﾞ	名称
1	S 706000	草刈機運転
2	S 730150	素掘側溝整備
3	S 730350	路盤排水工
4	S 730400	ｽﾘｯﾌﾟﾊﾞｰ設置
5	S 730410	路肩整備工(ｺﾝｸﾘｰﾄ路面工型)
6	S 730500	ｽﾃｯﾌﾟ芝工
7	S 730690	簡易木製土留工
8	S 730695	簡易木製土留工(あつみ型)
9	S 730710	木製法枠工
10	S 730715	木製法枠止め金具
11	S 730716	木製防護柵工
12	S 730717	木製ｱｽｶｰﾌﾞ設置工
13	S 730720	木製小動物脱出施設工
14	S 730730	法面保護杭
15	S 730800	駒止工（鉄筋使用）
16	S 730810	駒止工（接着剤使用）
17	S 730820	道路反射鏡設置
18	S 730830	林道用標識設置
19	S 732090	路肩整備工(舗装道路型)
20	S 732100	路床転圧
21	S 740500	丸太柵工
22	S 740510	丸太筋工
23	S 740600	土のう締切工
24	S 740610	回排水
25	S 741050	水抜管布設
26	S 741500	木製護岸工
27	S 741510	木製井桁工（組立）
28	S 741520	木工沈床工（壁面組立）
29	S 741530	木工沈床工（主柱組立）
30	S 741540	木工沈床工（敷成木組立、蓋成木組立）
31	S 741550	木工沈床工・木製井桁工（詰石）
32	S 741620	集水井用安全柵設置
33	S 742010	ﾔﾅｷﾞ挿木
34	S 742050	機械植付け（大苗木）
35	S 742055	ﾏﾙﾁﾝｸﾞ（敷均し）
36	S 742060	ﾊﾞｯｸﾎｳ運転（山積0.055m3）
37	S 742080	地拵え
38	S 742120	追肥（成木施肥）
39	S 742180	枝落し

40	S 742190	つる切り
41	－	ﾁｪﾝｿｰ運転
42	S 742210	保育補助工
43	S 742220	根踏み
44	S 742230	誤伐防止標
45	S 742270	雪落し
46	S 742290	既設作業道（歩道）刈払い
47	S 742300	機械切取（ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.055m3）
48	S 741310	三脚鳥居支柱
49	S 742330	竹三本支柱
50	S 742340	竹一本支柱
51	S 742350	階段工（横木2本）
52	S 742360	階段工（横木3本）
53	S 742380	木道工
54	S 742390	運搬路補修
55	S 743000	人力除雪
56	S 743010	ﾊﾞｯｸﾎｳ除雪
57	S 743020	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ除雪
58	S 7A901	吸出防止材設置
59	－	仮設防護柵（控杭ﾀｲﾌﾟ）
60	－	仮設防護柵（基礎ﾀｲﾌﾟ）
61	－	仮設防護枠
62	－	路面排水工
63	－	そだ暗渠工
64	－	簡易木製筋工

コード	706000

名　　称	草刈機運転

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-2-1(2)(参考)

改 定 日	H290401

単　　位	1日当り

名　称	単　位	数　量	備　　考
機械損料	日	1.0	肩掛式カッター径255mm
混合油	ℓ	1.5	1：20

摘　要	草刈機の運転日当り運転時間は２時間とし、交替で使用するものとする。 0.588ℓ/kwh×1.3kw×2h

コード	730150

名　　称	素掘側溝整備

出　　典	森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準

改 定 日	R41001

単　　位	1m当り

名　称	単位	数　量	備　　考
基面整正	m2	1.1	土砂～軟岩ＩＡまで適用

摘　要	素掘側溝の側面及び底面に計上する。

切土法勾配	路肩部＋底部＋切土部＝整正長（m）
1：0.8	0.47＋0.20＋0.38＝1.05
1：0.6	0.52＋0.20＋0.35＝1.07

コード	730350

名　　称	路盤排水工

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　5-5-2 基礎栗石工（敷均し）

改 定 日	

単　　位	100m2 当り

名　称	単位	数　量	備　　考
世　話　役	人	0.4	0.7×100/161
特殊作業員	人	0.7	1.2×100/161
普通作業員	人	2.1	3.4×100/161
路盤排水材	m3	34.2	0.30×100×1.14
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転	日	0.6	ｸﾛｰﾗ山積 0.8m3　　1×100/161

摘　要	路盤排水の材料は、割栗石（50～150mm）を標準とする。

コード	730400

名　　称	スリップバー設置

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　3-2

改 定 日	

単　　位	100 本当り

名　称	単位	数　量	備　　考
鉄筋加工組立	t	0.0624	長さ 0.4m (1.56kg/m)

摘　要	丸鋼　SR235 径 16mm

コード	730410

名　　称	路肩整備工（コンクリート路面工型）

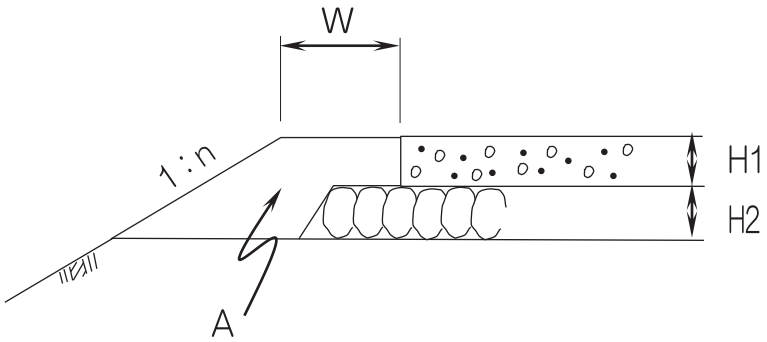
出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-3-4（4）（H29 版） 森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-9-2

改 定 日	R41001

単　　位	100m当り

名　称	単位	数　量	備　　考
盛　土　材	m3		必要量を計上（A×100）
人 力 盛 土	m3		〃
振動ﾛｰﾗ締固め	m3		〃
耳　芝　工	m	100	必要に応じて計上

摘　要	振動ローラは、ハンドガイド式 0.8～1.1t、日作業量は 50m3 とする。



構造図

コード	730500

名　　称	ステップ芝工

出　　典	森林整備事業保全標準歩掛　共通編　4-6-4

改 定 日	

単　　位	10m当り

名　称	単位	数　量	備　　考
緑化マット	枚	20	0.5×0.6m×(10/0.5)枚=6m2
世　話　役	人	0.01	0.16×6/100
普通作業員	人	0.10	1.60×6/100

摘　要	緑化マットは人工張芝（わら付張芝等）を標準とする。

コード	730690

名　　称	簡易木製土留工

出　　典	山形県林道事業の設計積算に係る細部取扱　第8-2

改 定 日	

単　　位	10基当り

名　称	単位	数　量	備　　考
簡易木製土留	基	10	
世　話　役	人	0.17	
普通作業員	人	0.34	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ運転	日	0.17	4.9t 吊り

摘　要	1　県産スギ間伐材使用 H=50タイプ：末口径6～11cm H=80タイプ：末口径12～14cm 2　H=50cmタイプ及びH=80cmタイプの共通歩掛である。 3　床掘・埋戻しは別途計上する。 4　くん煙処理、防腐処理は別途計上する。 5　吸出防止材は別途計上する。

コード	730695

名　　称	簡易木製土留工（あつみ型）

出　　典	山形県林道事業の設計積算に係る細部取扱　第8-2

改 定 日	

単　　位	10基当り

名　称	単位	数　量		備　　考
		H=0.5mﾀｲﾌﾟ	H=1.0mﾀｲﾌﾟ	
簡易木製土留	基	10	10	あつみ型
世　話　役	人	0.14	0.17	
普通作業員	人	0.28	0.34	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ運転	日	0.14	0.17	4.9t 吊り

摘　要	1　県産スギ間伐材使用 2　床掘・埋戻しは別途計上する。 3　くん煙処理、防腐処理は別途計上する。 4　ｽﾃｯﾌﾟ芝工は必要に応じて計上する。

コード	730710

名　　称	木製法枠工

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-3-4(4)（H29 版） 森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2 山形県林道事業の設計積算に係る細部取扱　第 8-1

改 定 日	H290401

単　　位	100m2 当り

名　称	単位	数　量	備　　考
横　　木	本	215	末口径 6～11cm　長さ 0.9m
杭　　木	本	115	末口径 6～11cm　長さ 0.75m
止め金具	組	115	
世　話　役	人	0.5	
普通作業員	人	4.3	杭打ち　0.06 人×0.75/1.20×115 本
普通作業員	人	6.0	組立・設置
普通作業員	人	1.92	覆土 2.4 人/10m3×8.0m3

摘　要	1　県産スギ間伐材、皮なし使用 2　覆土を標準とする。 　　覆土量＝（6cm＋11cm）/2×100m2＝8.0m3

コード	730715

名　　称	木製法枠止め金具

出　　典	

改 定 日	

単　　位	100 組当り

名　称	単位	数　量	備　　考
木製法枠ﾌﾟﾚｰﾄ	本	200	1.6×40×300㎜　SPHC
鉄　　釘	kg	6.4	１組当り N150（1 本)、N75（４本）

摘　要	材料費

コード	730716

名　　称	木製防護柵工

出　　典	森林土木構造物暫定施工歩掛　16-3

改 定 日	

単　　位	100m当り

横木２本ﾀｲﾌﾟ	土中建込用			基礎ﾌﾞﾛｯｸ建込用			ｺﾝｸﾘｰﾄ建込用		
支柱間隔（m）	1.5	2.0	3.0	1.5	2.0	3.0	1.5	2.0	3.0
横木（本）	133	100	67	133	100	67	133	100	67
支柱（本）	67	51	34	67	51	34	67	51	34
根かせ（本）	67	51	34	―	―	―	―	―	―
基礎ﾌﾞﾛｯｸ(個)	―	―	―	67	51	34	―	―	―
普通作業員	16.7	12.5	9.7	15.6	11.7	9.2	9.1	6.8	5.9

横木３本ﾀｲﾌﾟ	土中建込用			基礎ﾌﾞﾛｯｸ建込用			ｺﾝｸﾘｰﾄ建込用		
支柱間隔（m）	1.5	2.0	3.0	1.5	2.0	3.0	1.5	2.0	3.0
横木（本）	200	150	100	200	150	100	200	150	100
支柱（本）	67	51	34	67	51	34	67	51	34
根かせ（本）	67	51	34	―	―	―	―	―	―
基礎ﾌﾞﾛｯｸ(個)	―	―	―	67	51	34	―	―	―
普通作業員	18.7	14.5	11.7	17.6	13.7	11.2	11.1	8.8	7.9

摘　要	1　横木、支柱及び根かせは県産スギ間伐材使用、AAC 防腐処理、ｽﾃﾝﾌﾟﾙｰﾌ仕上げ 2　横木・・・長さ 1.5m 径 150mm、支柱・・・長さ 1.8m 径 90mm 根かせ・・・長さ 0.6m 径 90mm　M12×240 ボルト留め 3　床掘・建込・埋戻しを含む。 4　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ材料費・据付費、基礎砕石工に要する経費は別途計上する。

Sコード	730717

名　　称	木製アスカーブ設置工

出　　典	山形県森林整備必携（林道設計編）　第2章　第30-7 森林整備保全事業標準歩掛　共通編　7-7-2

改 定 日	H181001

単　　位	100m当り

名　称	単位	数　量		備　　考
		0.9mﾀｲﾌﾟ	1.8mﾀｲﾌﾟ	
丸　　太	本	111	56	末口径6～11cm
穴あけ加工	箇所	222	168	径18mm
鉄　　筋	本	222	168	異形棒鋼SD345　径13mm長さ400mm
普通作業員	人	1.60	1.60	

摘　要	県産スギ間伐材、皮なし使用

コード	730720

名　　称	木製小動物脱出施設工

出　　典	

改 定 日	

単　　位	1基当り

名　称	単位	数　量	備　　考
木製小動物脱出施設工	基	1	

摘　要	1　県産スギ間伐材、皮なし使用 2　材料費

コード	730730

名　　称	法面保護杭

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2

改 定 日	R31001

単　　位	１本当り

名　称	単位	数　量	備　　考
丸　　太	本	1	末口径 6～11cm　長さ 1.8m
普通作業員	人	0.12	

摘　要	県産スギ間伐材、皮あり使用

コード	730800

名　　称	駒止工（鉄筋使用）

出　　典	山形県森林整備必携（林道設計編）　第２章　第28-2(1)

改 定 日	H180101

単　　位	10基当り

名　称	単位	数量	備　　考
生コンクリート人力投入打設	m3	0.35	小型構造物
型　　枠	m2	4.9	
鉄筋加工組立	t	0.0858	異形棒鋼SD345　D16

摘　要	

コード	730810

名　　称	駒止工（接着剤使用）

出　　典	山形県森林整備必携（林道設計編）　第２章　第28-2(1) 土木工事標準積算基準書　Ⅳ-3-24-1

改 定 日	H290401

単　　位	10基当り

名　称	単位	数量	備　　考
生コンクリート人力投入打設	m3	0.35	小型構造物
型　　枠	m2	4.9	
接　着　剤	kg	0.60	打継面用・エポキシ樹脂
普通作業員	人	0.1	接着剤塗布

摘　要	接着剤　0.2×0.5×10＝1.0m2 、6.0kg/10m2×1.0m2=0.6kg 塗布（普通作業員）1.0/10m2×1.0m2＝0.1人 生コン　0.35×0.20×0.50×10＝0.35m3 型枠　(0.50＋0.20)×0.35×2×10＝4.9m2

コード	730820

名　　称	道路反射鏡設置

出　　典	土木工事標準積算基準書（県版）Ⅳ-2-5：平成 12 年度

改 定 日	

単　　位	１基当り

種　　別	普通作業員（人）	備　　考
１面鏡	0.5	
２面鏡	0.5	

摘　要	１　鏡調整、小運搬、建込みを含む。 ２　床掘・埋戻し、基礎コンクリートに要する費用は別途計上する。

コード	730830

名　　称	林道用標識設置

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　林道編　2-1-4

改 定 日	H290401

単　　位	10 基当り

名　称	単位	数　量	備　　考
林道用標識	基	10	
世　話　役	人	0.8	0.5＋0.3
普通作業員	人	2.6	1.5＋1.1

摘　要	1　単柱式に適用する。 2　標板はｱﾙﾐ製 t=2.0mm 支柱は県産スギ間伐材使用（ｽﾃﾝﾌﾟﾙｰﾌ仕上げ） 3　案内標識、行政界標識に共通の歩掛である。 4　床掘、埋戻しに要する経費は別途計上する。

コード	732090

名　　称	路肩整備工（舗装道路型）

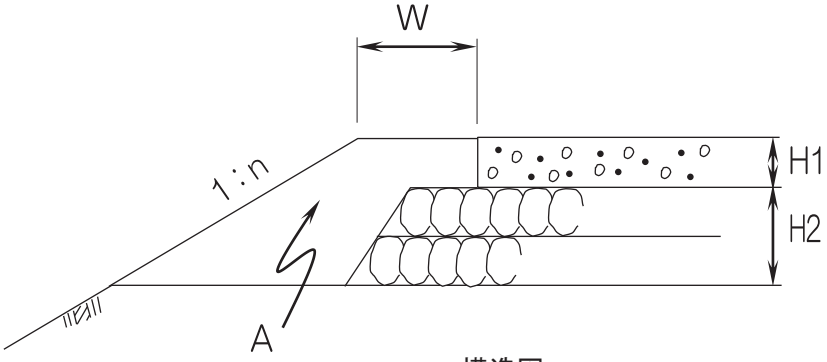
出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-3-4(4)（H29 版） 共通編　1-9-2

改 定 日	R41001

単　　位	100m当り

名　称	単位	数　量	備　考
盛　土　材	m3		必要量を計上（A×100）
人 力 盛 土	m3		〃
振動ﾛｰﾗ締固め	m3		〃
耳　芝　工	m	100	必要に応じて計上

摘　要	1　振動ローラは、ハンドガイド式 0.8～1.1t、日作業量は 50m3 とする。



構造図

コード	732100

名　　称	路床転圧

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-8

改 定 日	R41001

単　　位	100m2 当り

名　称	単位	数　量	備　　考
ﾀｲﾔﾛｰﾗ運転	時間	0.28	8～20t、100/360＝0.28

摘　要	

コード	740500

名　　称	丸太柵工

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛　2(2)、(4) 山形県林道事業の設計積算に係る細部取扱　第 8-3

改 定 日	H241001

単　　位	18m（10 基）当り

名　称	単位	数　量	備　　考
横　　木	本	50	末口径 6～11cm　長さ 1.8m
杭　　木	本	30	末口径 6～11cm　長さ 1.5m
くん煙処理	m3	0.9754	必要に応じて計上
普通作業員	人	1.89	杭打ち　0.09 人×0.7×30 本
普通作業員	人	1.50	結束　0.01 人/箇所×150 箇所
普通作業員	人	0.85	組立　0.017 人/本×50 本
ステップ芝工	m	18	必要に応じて計上
雑　材　料	%	3	結束線の費用で、結束労務費の 3%
諸　雑　費	%	2	チェーンソー等の経費で、組立労務の 2%

摘　要	1　県産スギ間伐材使用 2　結束線は、なまし鉄線#12 とする。 3　くん煙処理： (0.06＋0.11)/2＝0.085m 0.085^2×1.5×30＋0.085^2×1.8×50＝0.9754m3 4　結束労務　(0.16＋0.77)/100 箇所＝0.01 人/箇所 5　組立労務　(0.03＋0.14)/10 本＝0.017 人/本

コード	740510

名　　称	丸太筋工

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛　2(4) 山形県林道事業の設計積算にかかる細部取扱　第 8-5

改 定 日	

単　　位	18m（10 基）当り

名　称	単位	数　量	備　　考
横　　木	本	10	末口径 6～11cm　長さ 1.8m
杭　　木	本	20	末口径 6～11cm　長さ 0.75m
くん煙処理	m3	0.2384	必要に応じて計上
普通作業員	人	0.75	杭打ち　0.06 人×0.75m/1.20m×20 本
普通作業員	人	0.20	結束　0.01 人/箇所×20 箇所
雑　材　料	%	3	結束線の費用で、結束労務費の 3%

摘　要	1　県産スギ間伐材、皮なし使用 2　結束線はなまし鉄線#12 とする。 3　くん煙処理： (0.06＋0.11)/2＝0.085m 0.085^2×1.8×10＋0.085^2×0.75×20＝0.2384m3 4　結束労務　(0.16＋0.77)/100＝0.01 人/箇所

コード	740600

名　　称	土のう締切工

出　　展	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-3-4(2)（H29 版） 森林整備保全事業標準歩掛　共通編　8-2

改 定 日	R41001

単　　位	10m2 当り

名　　称	単位	数量	備　　考
土　の　う	袋	170	62～48cm、小口並べ
普通作業員	人	2.1	土砂採取
普通作業員	人	6.0	土のう拵え積立て取除き

摘　要	土砂採取（粘性土）　0.42 人/m3×5m3

コード	740610

名　　称	回排水

出　　典	土地改良事業等請負工事標準歩掛 硬質塩化ビニール管機械布設 森林整備保全事業標準歩掛　共通工 8-1（使用期間別の材料損料率）

改 定 日	R41001

単　　位	10ｍ当り

呼び径 (mm)	世話役 （人）	特殊作業員 （人）	普通作業員 （人）	機械運転時間 （日）	備考
250～300	0.12	0.24	0.35	0.12	機械
500	0.23	0.42	0.59	0.17	機械
600	0.29	0.54	0.75	0.20	機械

摘　要	１　撤去を含む。撤去は布設の 50%とする。 ２　使用機械はバックホウ（クレーン機能付）排出ガス対策型（第３次基準）クローラ型山積 0.45ｍ３（平積 0.35ｍ３）2.9ｔ吊を標準とする。 ３　回排水に使用する資材として、硬質塩ビ管 VU（TS 片スリーブ継手）を必要量計上する。 使用期間別の材料損料率（%） ３ヶ月未満・・・45% ６ヶ月未満・・・55% １年未満　・・・65% ２年未満　・・・75% ３年未満　・・・85%

コード	741050

名　　称	水抜管布設

出　　典	土地改良事業等請負工事標準歩掛 硬質塩化ビニール管人力布設・機械布設

改 定 日	R41001

単　　位	10m当り

呼び径 (mm)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	機械運転時間 (日)	雑材料費 (%)	備 考
50 以下	0.07	0.11	0.15	－	2	人力
65～100	0.08	0.12	0.17	－	2	人力
125～150	0.09	0.13	0.19	－	2	人力
200	0.10	0.16	0.22	－	2	人力
250～300	0.08	0.16	0.23	0.08	2	機械
350～400	0.11	0.21	0.28	0.09	2	機械
450	0.13	0.24	0.35	0.10	2	機械
500	0.15	0.28	0.39	0.11	2	機械
600	0.19	0.36	0.50	0.13	2	機械

摘　要	1　使用機械はバックホウ（クレーン機能付）排出ガス対策型（第３次基準）クローラ型山積 0.45m３（平積 0.35m３）2.9ｔ吊を標準とする。 2　水抜管は硬質塩ビ管 VU（TS 片スリーブ継手）とし、必要量を別途計上する。 3　雑材料費は接合剤の費用とし、管材料費に上表の率を乗じた金額とする。

コード	741500

名　　称	木製護岸工

出　　典	山形県木製土木用資材設計指針及び施工歩掛

改 定 日	

単　　位	10 基当り

名　称	単位	数　量	備　　考
木 製 護 岸	基	10	
世　話　役	人	0.26	
普通作業員	人	0.51	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ運転	日	0.26	4.9t 吊

摘　要	1　県産スギ間伐材使用 2　標準タイプ（H=1.0m）、基礎タイプ（H=2.0m）共通歩掛である。 3　床掘・埋戻しは別途計上する。 4　ヤナギ挿し木は必要量を別途計上する。 5　ステップ芝工は必要に応じて別途計上する。

コード	741510

名　　称	木製井桁工（組立）

出　　典	山形県木製土木用資材設計指針及び施工歩掛

改 定 日	

単　　位	10m（5基）当り

高さ (m)	下段ﾕﾆｯﾄ (基)	標準ﾕﾆｯﾄ (基)	普通作業員（人）	詰石（m3）		備　　考
				奥行 1.0m	奥行 0.8m	
0.5	5	5	0.40	2.7	1.9	
0.7		10	0.60	3.8	2.6	
0.9		15	0.80	4.8	3.3	
1.1		20	1.00	5.9	4.0	
1.3		25	1.20	6.9	4.7	
1.5		30	1.40	8.0	5.5	
1.7		35	1.60	9.1	6.2	
1.9		40	1.80	10.1	6.9	
2.1		45	2.00	11.3	―	奥行 1.0m に適用
2.3		50	2.20	12.3	―	〃
2.5		55	2.40	13.4	―	〃

摘　要	1　県産スギ間伐材使用 2　奥行 1.0mタイプと 0.8mタイプに共通する組立・据付け歩掛である。 3　床掘・埋戻しが必要な場合は別途計上する。 4　詰石量は実容積であり、詰石材料及び手間は別途計上する。

コード	741520

名　　称	木工沈床工（壁材組立）

出　　典	山形県木製土木用資材設計指針及び施工歩掛

改 定 日	

単　　位	10 面当り

名　称	壁　材（面）	普通作業員（人）	備　　考
壁材高さ 0.4m	10	0.13	
壁材高さ 0.6m	10	0.20	
壁材高さ 0.8m	10	0.26	
壁材高さ 1.0m	10	0.33	
壁材高さ 1.2m	10	0.40	
壁材高さ 1.4m	10	0.70	
壁材高さ 1.6m	10	0.80	
壁材高さ 1.8m	10	0.90	

摘　要	1　壁材は横木２本使用で、厚さ 10cm、幅 12cm 以上、皮無し、県産スギ間伐材使用 2　掘削、埋戻し、詰石、吸出防止材は別途計上する。

コード	741530

名　　称	木工沈床工（主柱組立）

出　　典	山形県木製土木用資材設計指針及び施工歩掛

改 定 日	

単　　位	10 本当り

名　称	単位	数量	備　　考
主　　柱	本	10	10cm 角、長さ 40～120cm、140～180cm
普通作業員	人	0.03	

摘　要	県産スギ間伐材使用

コード	741540

名　　称	木工沈床工（敷成木組立、蓋成木組立）

出　　典	山形県木製土木用資材設計指針及び施工歩掛

改 定 日	

単　　位	1槽当り

名　称	単位	数量	備　　考
敷　成　木	槽	1	
普通作業員	人	0.07	

名　称	単位	数量	備　　考
蓋　成　木	槽	1	
普通作業員	人	0.07	

摘　要	県産スギ間伐材使用 1.8×1.8m、厚さ10cm、幅12cm以上、皮無し

コード	741550

名　　称	木工沈床工・木製井桁工（詰石）

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　5-7(3)2)

改 定 日	H290401

単　　位	1m3 当り

名　称	単位	人力	ﾊﾞｯｸﾎｳ（山積 0.45m3）使用	ﾊﾞｯｸﾎｳ（山積 0.80m3）使用	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ使用	備　考
中　詰　石	m3	0.95	0.95	0.95	0.95	
普通作業員	人	0.3	0.1	0.1	0.15	
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転	時間	－	0.3	0.2	－	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料	日	－	－	－	0.02	

摘　要	1　ラフテレーンクレーンは油圧伸縮ジブ型 16t 吊とする。 2　中詰石は割詰石 150～200mm を標準とし、1m3 当りの詰石量は 0.95m3 とする。

コード	741620

名　　称	集水井用安全柵設置

出　　典	土木工事標準積算基準書（県版）Ⅲ-4-1

改 定 日	

単　　位	１基当り

名　称	安全柵（基）	普通作業員（人）	備　　考
集水井径 4.0m	1	0.9	0.05 人／m×（4.0+0.5）m×4
集水井径 3.5m	1	0.8	0.05 人／m×（3.5+0.5）m×4
集水井径 3.0m	1	0.7	0.05 人／m×（3.0+0.5）m×4

摘　要	安全柵は立格子ﾀｲﾌﾟ門扉を含み、高さ 1.2m を標準とする。

コード	742010

名　　称	ヤナギ挿木

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　治山編　3-13(3)

改 定 日	H291001

単　　位	1000 本当り

名　　称	単位	数量	備　　考
普通作業員	人	0.5	採取、挿し木

摘　要	ヤナギ類等の挿し木を現地採取し、木製護岸工等に挿し木する。 挿し木は長さ 20cm、径 2cm 程度とする。

コード	742050

名　　称	機械植付け（大苗木）

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-3-4(2)（H29 版） 治山編　5-1-3 土木工事標準積算基準書　V-1-①-8

改 定 日	H290401

単　　位	100 本当り

苗木規格	世話役 （人）	普通作業員 （人）	機械床掘 (m3)	備　　考
樹高 3.0m 以下,幹回 0.12m	1.7	6.2	14	12.1－0.42×14
樹高 3.0m 以下,幹回 0.15m	2.3	5.1	27	16.4－0.42×27
樹高 3.5m 以下,幹回 0.15m	3.3	12.3	27	23.6－0.42×27
樹高 3.5m 以下,幹回 0.20m	4.8	15.3	44	33.8－0.42×44
樹高 4.0m 以下,幹回 0.20m	6.6	28.3	44	46.8－0.42×44
樹高 4.0m 以下,幹回 0.30m	8.9	30.8	76	62.7－0.42×76

摘　要	1　車歩道の隣接地等の機械による植え穴の床掘が可能な場合で、樹高 2.5ｍを越える苗木の植え付けに適用するものとし、人力との併用で（人力：機械＝8：2）を標準とする。 2　苗木は根鉢付きの場合である。 3　バックホウは油圧式クローラ型バケット山積 0.055m3 を標準とする。ただし、作業用車歩道の幅員や地形等による制約がない場合には、山積 0.13m3 級とする。 4　普通作業員について、植穴の機械掘削分を控除している。

コード	742055

名　　称	マルチング（敷均し）

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-3-4(4)（H29 版）

改 定 日	H290401

単　　位	10m3 当り

名　称	単位	数量	備　　考
普通作業員	人	1.2	2.4×50%

摘　要	1　小運搬が必要な場合は別途計上する。 2　チップマルチ及びバークマルチに適用する。

コード	742060

名　　称	バックホウ運転（山積 0.055m3）

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編 1-4-3(2)⑤、治山編 1-1-3(2)、1-1-4(2)

改 定 日	H290401

単　　位	１時間当り

名　　称	単　位	数　量	備　　考
バックホウ機械損料	時間	1	
特殊作業員	人	0.18	1／5.6
軽　　油	ℓ	2.0	13kw/h×0.153ℓ/kwh

摘　要	1　バックホウ山積 0.055m3（平積 0.04m3） 運転日当り標準運転時間 5.6h/日（クローラ型山積 0.13m3 準用） 供用日当り標準運転時間 3.9h/日（　　〃　　） (H27.治山編 1-1-3(2)2) 備考 4 参照）

コード	742080

名　　称	人力地拵え

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　治山編　5-1-4(1)

改 定 日	H271001

単　　位	100m2 当り

名　称	単位	数　量	備　　考
普通作業員	人		摘要参照

摘　要

1　歩掛は以下のとおり

種別	状態	伐開（人）	片付（人）	計（人）	備考
笹竹	密生	0.28	0.18	0.46	全刈
〃	疎生	0.20	0.11	0.31	〃
草(かや等)	密生	0.17	0.09	0.26	〃
〃	疎生	0.12	0.05	0.17	〃

2　刈払い面積は、実面積とし、立木の伐倒は含まない。

3　片付けは、伐倒木、枝条、その他植生を林内の一定箇所に集積する作業である。

コード	742120

名　　称	追肥（成木施肥）

出　　典	スギの生産管理基準（表-23 除伐後の施肥基準）

改 定 日	

単　　位	1 ha 当り

名　称	単位	数量	備　　考
普通作業員	人	2.0	

摘　要	1　施肥方法は樹冠縁下ばらまきとし、窒素成分施肥量は 1ha 当り 70（60～80）kg を標準とする。

コード	742180

名　　称	枝落し

出　　典	造林、保育及び間伐事業標準工程表　第２の５(2)

改 定 日	R41001

単　　位	100 本当り

作業方法	作業範囲	特殊作業員（人）	普通作業員（人）	諸雑費（%）	備　　考
人力	１～２ｍ	0.21	0.21	—	
	２～３ｍ	0.25	0.25	—	
	３～４ｍ	0.28	0.28	—	
チェンソー	１～２ｍ	0.18	0.18	6	
	２～３ｍ	0.22	0.22	6	
	３～４ｍ	0.26	0.26	6	

摘　要	

コード	742190

名　　称	つる切り

出　　典	

改 定 日	

単　　位	1 ha 当り

名　称	単位	数量	備　　考
普通作業員	人	3.5	

摘　要	

コード	

名　　称	チェンソー運転

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　1-2-1(3)

改 定 日	

単　　位	1日当り

名　称	単　位	数　量	備　　考
機械損料	日	1.0	鋸長 500㎜
混合油	ℓ	5.2	1：20
ﾁｪｰﾝｵｲﾙ	ℓ	0.1	#80

摘　要	

コード	742210

名　　称	保育補助工

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛 2(4)

改 定 日	

単　　位	1基当り

名　称	単位	数　量	備　　考
主　　柱	本	1	長さ 1.5m　末口径 9cm 以上
支　　柱	本	2	長さ 1.8m　末口径 9cm 以上
普通作業員	人	0.23	建込 0.90 人/10 本×0.7＋1.20/10 本×0.7×2 本
普通作業員	人	0.02	結束 0.01 人/箇所×2 箇所
雑 材 料	%	8	結束線の費用で、結束労務費の 8%

摘　要	1　対象齢級はⅠ齢級を標準とするが、積雪及び成育状況により必要な場合にはⅢ齢級を上限として実施できるものとする。 2　対象箇所は次のとおりとする。 ・最大積雪深が 1.5m以上かつ雪のグライドにより被害を受けやすい斜面（傾斜約 25 度以上） ・植栽後の被害状況から判断して、被害の累積により成林が期待できない箇所 3　群杭の密度は、約 40m2 に 1 基を標準とし、千鳥配置とする。 4　結束線は亜鉛引鉄線#8 とする。 5　結束労務　(0.16+0.77)/100=0.01 人/箇所

コード	742220

名　　称	根踏み

出　　典	スギの生産管理基準

改 定 日	

単　　位	1ha 当り

名　称	単位	数量	備　　考
普通作業員	人	4.0	

摘　要	

コード	742230

名　　称	誤伐防止標

出　　典	

改 定 日	

単　　位	1000 本当り

名　　称	単位	数量	備　　考
篠　　竹	本	1000	長さ 1.5～2.0m
蛍光テープ	m	300	１本当り 30cm、幅 2cm
普通作業員	人	1.2	

摘　要	1　雑草木が繁茂して、下刈時に誤伐される恐れのある植栽木の側方に設置する。 2　植栽翌年の根踏時等の下刈前に設置することができる。

コード	742270

名　　称	雪起し

出　　典	山形県森林施業支援事業標準単価算出基礎　2(2)ｱ

改 定 日	

単　　位	1ha 当り

名　称	単位	数量	備　　考
縄	玉	10	太さ 2.5 分、200m/玉（2.5kg）
普通作業員	人	6.7	

摘　要	1　雪起し率は 30%の場合であり、雪起し率に応じて人工数及び使用材料を増減する。

コード	742290

名　　称	既設作業道（歩道）刈払い

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編 1-2-1(2)

改 定 日	H191001

単　　位	1km 当り

名　称	単位	数量	備　　考
草刈機運転	日	1.4	0.5m×2×1000m×0.14/100m2
特殊作業員	人	1.4	

摘　要	1　刈幅は片側 0.5m を標準とし、これにより難い場合は、別途積算する。 2　草刈機運転は標準歩掛共通 1-2-1(2)(参考)による。 運転日当り運転時間は 2 時間とする。

コード	742300

名　　称	機械切取（バックホウ山積 0.055m3）

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　治山編　1-1-3(2)、1-1-4(2)

改 定 日	H290401

単　　位	100m3 当り

名　　称	単　位	数　量	備　　考
バックホウ運転	時間		100／Q

摘　要	１時間当り土工量：Q＝（3600×q×E）／Cm q：１サイクル当り掘削積込量（m3） q＝0.98×qo（平積容量＝0.04m3）＝0.04m3 Cm：１サイクル所要時間＝28sec（旋回角度 45 度） E：作業効率　（山地治山 B　渓間工） 砂・砂質土　　・・・0.65 粘性土・礫質土・・・0.55 岩塊・玉石　　・・・0.45 軟岩 IA　　・・・0.45

コード	742310

名　　称	三脚鳥居支柱

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　治山編　5-2(3)

改 定 日	

単　　位	１基当り

名　称	単位	数　量	備　　考
支　　柱	本	3	径 6～11cm　長さ 1.8m
横　　木	本	1	径 6～11cm　長さ 0.6m
添　　柱	本	1	径 6～11cm　長さ 2.0～4.0m
雑 材 料	%	20	結束材料等で丸太金額の 20%
世 話 役	人	0.025	0.02×5/4 本
普通作業員	人	0.24	0.19×5/4 本

摘　要	県産スギ間伐材使用

コード	742330

名　　称	竹三本支柱

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　治山編　5-2(4)

改 定 日	

単　　位	１基当り

幹周 8～15cm 用、止め杭あり

名　称	単位	数　量	備　　考
真　竹	本	3	支柱用　　長さ 2.5m　径 4cm
真　竹	本	3	止め杭用　長さ 0.7m　径 4cm
雑材料	%	20	結束材料等で真竹金額の 20%
世話役	人	0.01	
普通作業員	人	0.11	

小苗木用、止め杭なし

名　称	単位	数　量	備　　考
真　竹	本	3	長さ 1.5m　径 4cm
雑材料	%	20	結束材料等で真竹金額の 20%
世話役	人	0.005	0.01×3 本/6 本
普通作業員	人	0.055	0.11×3 本/6 本

摘　要	

コード	742340

名　　称	竹一本支柱

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　治山編　5-2(1)

改 定 日	

単　　位	１基当り

名　称	単位	数　量	備　　考
真　竹	本	1	長さ 1.0m、1.5m、2.6m　径 4cm
雑材料	%	20	結束材料等で真竹金額の 20%
世話役	人	0.001	
普通作業員	人	0.032	

摘　要	

コード	742350

名　　称	階段工（横木２本）

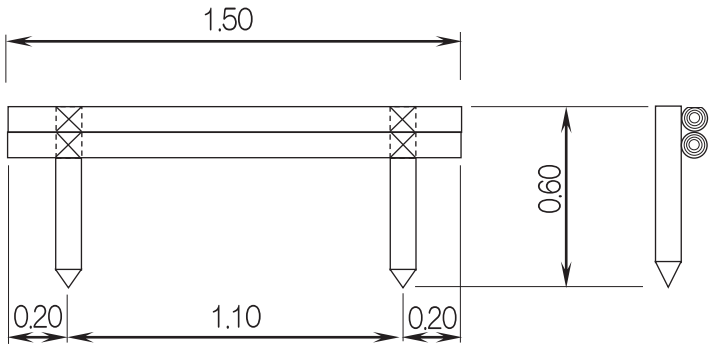
出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛　2(4)

改 定 日	

単　　位	10 段当り

名　称	単位	数　量	備　　考
杭　木	本	20	径 6～11cm 以上、長さ 0.60m
横　木	本	10	径 14cm 以下、長さ 1.50m、一面落
横　木	本	10	径 6～11cm 以上、長さ 1.50m
普通作業員	人	0.40	横木結束 0.01 人/箇所×40 箇所
普通作業員	人	0.42	杭木設置 0.06 人×0.60m/1.20m×0.7×20 本
雑　材　料	%	3	結束線の費用で、結束労務費の 3%

摘　要	1　資材の運搬が必要な場合は別途計上する。 2　撤去の場合は、本歩掛の 20%とする。 3　結束線は、なまし鉄線#12 とする。 4　床掘・埋戻しが必要な場合は別途計上する。 5　結束労務　(0.16＋0.77)/100 箇所＝0.01 人/箇所



構造図

コード	742360

名　　称	階段工（横木３本）

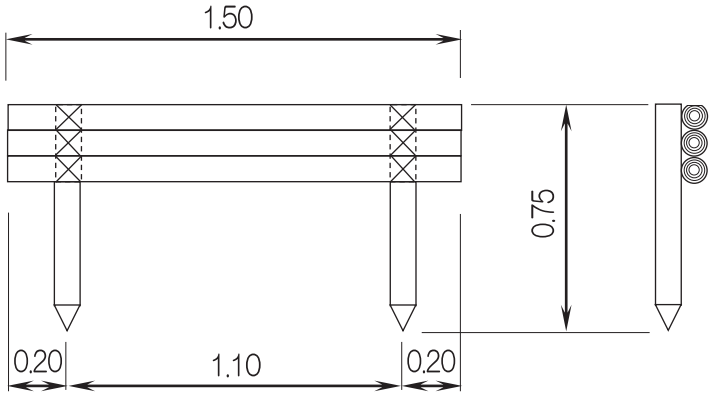
出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛　2(4)

改 定 日	

単　　位	10 段当り

名　称	単位	数　量	備　　考
杭　木	本	20	径 6～11cm 以上、長さ 0.75m
横　木	本	10	径 14cm 以下、長さ 1.50m、一面落
横　木	本	20	径 6～11cm 以上、長さ 1.50m
普通作業員	人	0.60	横木結束 0.01 人/箇所×60 箇所
普通作業員	人	0.53	杭木設置 0.06×0.75m/1.20m×0.7×20 本
雑　材　料	%	3	結束線の費用で、結束労務費の 3%

摘　要	1　資材の運搬が必要な場合は別途計上する。 2　撤去の場合は、本歩掛の 20%とする。 3　結束線は、なまし鉄線#12 とする。 4　床掘・埋戻しが必要な場合は別途計上する。 5　結束労務　(0.16＋0.77)/100 箇所＝0.01 人/箇所



構造図

コード	742380

名　　称	木道工

出　　典	

改 定 日	

単　　位	1m3 当り

名　称	単位	数量	備　　考
普通作業員	人	2.35	

摘　要	1　構造型木道（二次製品）の設置に適用し、現場製作によるもの及び敷板型木道については適用しない。 2　構造型木道とは、支柱、受木等により敷板を支持する型式のものをいう。

コード	742390

名　　称	運搬路補修

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　林道編　1-1

改 定 日	H290401

単　　位	１m3 当り

種　別	普通作業員（人）	備　　考
敷砂利	0.055	

摘　要	１　敷砂利量の１／２について計上する。0.11 人/m^3／2＝0.055 人/m^3 ２　補修材の数量は車輪の幅を考慮して決定する。 大型車・・・車輪幅片側　1.0m 小型車・・・車輪幅片側　0.8m

コード	743000

名　　称	人力除雪

出　　典	土木工事標準積算基準書（県版）Ⅱ-5-7

改 定 日	

単　　位	1m3 当り

名　称	単位	数量	備　　考
普通作業員	人	0.03	

摘　要	

コード	743010

名　　称	バックホウ除雪

出　　典	

改 定 日	

単　　位	１時間当り

名　　称	単　位	数　量	備　　考
バックホウ運転	時間	1	

摘　要	除雪費：C=バックホウ１時間当り運転時間×V V＝（A×H）／Q Q＝（3600×q×E）／Cm V：バックホウ除雪作業時間 A：除雪面積（m2） H：該当工事算定積雪深（ｍ） Q：バックホウ１時間当り作業量（m3/h） q：１サイクル当り掘削積込量（m3） Cm：１サイクル所要時間 （旋回角度 90 度 30sec） E：作業効率　1.00

コード	743020

名　　称	ブルドーザ除雪

出　　典	

改 定 日	

単　　位	１時間当り

名　　称	単　位	数　量	備　　考
ブルドーザ運転	時間	1	

摘　要	

除雪費：C＝ブルドーザ１時間当り運転単価×T

T＝tn×N

tn=A／A1

T：ブルドーザ除雪作業時間（h）

tn1：ブルドーザ除雪１回当り作業時間（h）

N：除雪回数（10cm 以上の降雪日数）

A：除雪面積（m2）

A1：1時間当り除雪可能面積（m2/h）

ブルドーザ除雪可能面積

規　格	１回当り除雪幅（m）	１時間当り除雪可能面積（m2）
２１ｔ	3.7	3.7×3500=12,950
１５ｔ	3.5	3.5×3500=12,250
１１ｔ	3.0	3.0×3500=10,500

コード	S7A901

名　　称	吸出防止材設置

出　　典	H26 土木工事標準積算基準書　Ⅱ-2-20

改 定 日	

単　　位	100m2 当り

名　称	単位	数　量	備　　考
吸出防止材	m2		点在：100m2
普通作業員	人	0.6	

摘　要	点在する場合の割増し率は 0 とする。 全面設置の場合は、以下による コンクリートブロック積（張）の吸出防止材（設置）は、森林整備保全事業における施工パッケージ型積算方式⑥3-12 による。 その他の吸出防止材を施工箇所全面への設置は、森林整備保全事業における施工パッケージ型積算方式㉒による。

コード	

名　　称	仮設防護柵（控杭タイプ）

出　　典	土木工事標準積算基準書（県版）　Ⅲ-5-1 森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2、8-1-2(3)

改 定 日	H290401

単　　位	10m当り

名　称	単位	数　量	備　　考
主　　柱	m	22.5	単管 450×φ48.6mm×5
横　　梁	m	20.0	単管 400×φ48.6mm×5
控　　木	m	15.0	単管 300×φ48.6mm×5
筋　　違	m	52.0	単管 260×φ48.6mm×20
防 護 網	m2	40.0	網目 40mm、線径#8
控　　杭	本	10	末口径 6～11cm、長さ 1.5m
と び 工	人	3.9	
普通作業員	人	6.8	
普通作業員	人	0.63	（控杭設置）　0.09 人×0.7×10 本

摘　要	1　資材の損率は、使用期間等に応じて決定する。 2　控杭は県産間伐材（皮付き）とする。 3　土木工事標準積算基準書（県版）Ⅲ-5-2 の④に控杭を用いたタイプ。

コード	

名　　称	仮設防護柵（基礎タイプ）

出　　典	土木工事標準積算基準書（県版）　Ⅲ-5-1 森林整備保全事業標準歩掛　共通編　8-1-2(3)

改 定 日	H290401

単　　位	10m当り

名　称	単位	数　量	備　　考
主　　柱	m	22.5	単管 450×φ48.6mm×5
横　　梁	m	20.0	単管 400×φ48.6mm×5
控　　木	m	15.0	単管 300×φ48.6mm×5
筋　　違	m	52.0	単管 260×φ48.6mm×20
防 護 網	m2	40.0	網目 40mm、線径#8
と び 工	人	3.9	
普通作業員	人	6.8	

摘　要	1　資材の損率は、使用期間等に応じて決定する。 2　コンクリート基礎は別途積算する。 3　土木工事標準積算基準書（県版）Ⅲ-5-2 の④にコンクリート基礎を用いたタイプ。

コード	

名　　称	仮設防護枠

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　8-1-2(3)

改 定 日	H290401

単　　位	10m当り

名　称	単位	数　量	備　　考
足場鋼管	m	119.76	単管φ48.6mm
ジョイント	個	16	SA-1
自在クランプ	個	31	φ48.6mm用
菱形金網	m2	43.2	網目56mm、線径#8、6.0m×6.0m×1.2
亜鉛引鉄線	kg	4.9	線径#6
普通作業員	人	2.0	

摘　要	資材の損率は、使用期間等に応じて決定する。

コード	

名　　称	路面排水工

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　6-1-2 木製構造物パーツ化歩掛　2(4)

改 定 日	

単　　位	10 箇所当り

名　称	単位	数　量	備　　考
杭　木	本	20	径 6cm 以上、長さ 0.45m
横　木	本	10	径 9cm 以上、長さ 1.80m
普通作業員	人	0.20	結束 0.01 人/箇所×20 箇所
普通作業員	人	0.36	杭木設置 0.06 人×0.45m/1.20m×0.8×20 本
雑　材　料	%	3	結束線の費用で結束労務費の 3%

摘　要	1　資材の運搬が必要な場合は別途計上する。 2　結束線は、なまし鉄線#12 とする。 3　結束労務　(0.16＋0.77)/100 箇所＝0.01 人/箇所

コード	

名　　称	そだ暗渠工

出　　典	森林整備保全事業標準歩掛　共通編　4-1-9(1) 治山編　3-13(4)

改 定 日	H290401

単　　位	100m当り

名　称	単位	数　量	備　　考
そ　　だ	束	50	現地発生材、1 束＝長さ 2m、1m縄〆
一般世話役	人	0.15	設置　0.3 人×50%
普通作業員	人	0.40	設置　0.8 人×50%
普通作業員	人	1.8	そだ採取 0.36 人/10 束/2m×100m

摘　要	1　100m程度までの小運搬を含む。 2　床掘・埋戻しが必要な場合は別途計上する。

コード	

名　　称	簡易木製筋工

出　　典	山形県林道事業の設計積算に係る細部取扱　第8-4

改 定 日	

単　　位	10組当り

名　称	単位	数　量	備　　考
簡易木製筋工	基	10	長さ1.8m、幅0.5m
普通作業員	人	0.10	

摘　要	1　県産スギ間伐材使用 2　くん煙処理、防腐処理が必要な場合は別途計上する